

高齢者の生きがいづくり、そして地域貢献へ
～人生80年時代の、豊かで生きがいのある人生を求めて～

市民協働研究会委員 大倉弘行

1. 現代社会の特徴と問題点

- ・ 少子高齢化の進展 低成長経済、国・地方の財政難、企業や現役世代への過重な負担
高齢者サービスの大幅減
- ・ 社会保障制度の揺らぎ 年金制度改革・介護保険制度の見直し、医療費の削減
- ・ 地域社会の崩壊 地域の世話役が減り、住民一人一人の絆も薄れ、もっぱら行政サービス
依存になる傾向

2. 生きがいを持って、お互いに支えあって生きていく社会づくりが必要

- ・ 高齢者の活性化 老いたる者の価値を如何にして社会に活かしていくべきかを考える。
- ・ 生涯学習で学んだことをそのままにせず、実践に移し、自らの生活態度に表していく。
- ・ 行政との協働によるまちづくり
行政を中心に、NPOや、地域活動団体などが、サロン風の“場”を用意する。
商店街の空き店舗の利用も良し。ふれあいの場が高齢者を支え、商店街&地域活
性の源になり、独自のまちづくりにつながる。
(成功例：東京巣鴨の「とげぬき地蔵商店街」、島根の「天神街」)

3. 高齢者の活性化と協働によるまちづくり

仕事人生で築き上げた経験と能力を活かし、活力に満ちたまちづくりをめざそう！

例えば、NPOやボランティアグループを設立し、個々の高齢者の生きがいづくり、仲間
づくりを推進するため、コミュニケーションの場や、学習教育環境などのプラットフォームを
提供する。

培った能力を活かし、行政と市民・団体との協働によるまちづくりの推進役となり、生き
生きとした、連帯感のある地域社会を実現したい。

・ 主な実施事業構想として

- 1) ボランティア活動の組織化と連帯
- 2) 学習講座
- 3) セミナー開催
- 4) 地方議会議員立候補者養成
- 5) 地域ポータルサイト「いこねっと江南」(<http://www.ikomai-konan.com/>)の運営と
管理。

- * 次には、行政とも協働し、地域SNS(ソーシャルネットワーキングサイト)を立ち上げ、
住民同士の交流を深めてもらい、地域の活性化や行政スリム化につなげたい。
災害時の連絡手段にも活用も考えられるのでは。